

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は時間数				実務経験有	省令で定める基準単位数又は時間数	配置困難		
			授業科目	単位(時間数)	担当時間数						
看護専門課程 2年課程	看護科		専門基礎分野	と人体の機能の構造							
				人体の構造		1(30)	30	○			
				人体の機能		1(30)	30	○			
				生化学・栄養学		1(30)	30	○			
				疾病の成り立ちと回復の促進	疾病の成り立ちと治療Ⅰ	病理学及び病態生理学	1(30)	20	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅰ	内分泌疾患		10	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅱ	①呼吸器疾患	1(30)	14	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅱ	②循環器疾患		16	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅲ	①消化器疾患 ②腎疾患 ③泌尿器疾患	1(30)	16	○		
								8	○		
								6	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅳ	①脳神経疾患 ②運動器疾患	1(30)	16	○		
								14	○		
			疾病の成り立ちと治療Ⅴ		①眼疾患 ②耳鼻咽喉疾患 ③皮膚疾患 ④女性生殖器疾患 ⑤血液・造血疾患	1(30)	4	○			
				4			○				
				4			○				
				8			○				
				10			○				
			疾病の成り立ちと治療Ⅵ	①微生物 ②アレルギー・膠原病 ③感染症疾患	1(15)	5	○				
						4	○				
						6	○				
			臨床薬理学		1(30)	30	○				
			専門分野	基礎看護学	看護の原点	1(15)	15	○			
					看護過程の展開	1(30)	30	○			
					身体の中の声を聴く技術	1(30)	30	○			
					生命維持を助ける技術Ⅰ	1(30)	30	○			
					生命維持を助ける技術Ⅱ	1(30)	30	○			
					考える生活援助技術	1(30)	30	○			
				地域・在宅看護論	地域・在宅看護入門	1(30)	30	○			
					地域と暮らし	1(30)	30	○			
					家族看護	1(15)	15	○			
					療養生活を支える技術	1(30)	30	○			
					療養生活を支える多職種連携	1(30)	30	○			
				成人看護学	成人看護学概論	1(15)	15	○			
					成人看護学方法論Ⅰ	1(30)	30	○			
					成人看護学方法論Ⅱ	1(30)	30	○			
					がん看護	1(30)	30	○			
				老年看護学	老年看護学概論	1(15)	15	○			
					老年看護学方法論Ⅰ	1(30)	30	○			
老年看護学方法論Ⅱ	1(30)	30			○						
小児看護学	小児看護学概論	1(30)		30	○						
	小児看護学方法論Ⅰ	1(30)		30	○						
	小児看護学方法論Ⅱ	1(15)		15	○						
母性看護学	母性看護学概論	1(30)		30	○						
	母性看護学方法論Ⅰ	1(30)		30	○						
	母性看護学方法論Ⅱ	1(30)		30	○						
精神看護学	精神看護学概論	1(30)		30	○						
	精神看護学方法論Ⅰ	1(30)		30	○						
	精神看護学方法論Ⅱ	1(15)		15	○						
看護の統合と実践	医療安全・看護管理	1(30)		30	○						
	災害看護	1(30)		30	○						
	臨床看護の実践	1(30)		30	○						
	看護研究	1(30)		30	○						
位総数単				41	1,305						

6

	合計	1年次
講義単位数(時間数)	53(1380)	38(1035)
実習単位数(時間数)	16(670)	3(130)
合計	69(2050)	41(1165)